

## 第4章 今後の課題



## 第4章 今後の課題

### 第1節 「満点追求」コースの普及

「フライス加工高度熟練技能を目指す満点追求コース」は試行実施を通して、その有効性が確認され、課題、改善点も明らかにできた。今後は、このコースを広く実施し、熟練技能者養成に生かしていくこととなる。また、このコースは高度熟練技能者の外部講師によるコース展開に当たり、その手法は非常に有効であると考えられる。さらに、コースで得られた訓練技法、及びその要素を従来のコースに反映し、いままでのコースに更なる実践力を付加することが出来る。

実際にこのコースを行うためには、技能五輪や技能グランプリの選手育成の経験者など、「満点追求」の指導ができるだけの高度熟練技能保有の指導者を必要とする。また、このコース内容からは複数の指導員体制を取る方法が有効である。公共の能力開発施設では、その指導員とともに複数人にてコース実施をすることが適切である。

また、資料編に具体的実施に向けたカリキュラム資料を掲載した。

### 第2節 「感覚技能」コースの実施

本研究会においては、今回実施した「満点追求」コース以外に「感覚技能」コースの検討も同時に行っている。先行研究「OJTによる能力開発に関する研究」にて調査した熟練技能要素のカンコツについて分析し、その要素を「感覚技能」として習得技能要素としてまとめた。「満点追求」コースから得られた実績を基に、「感覚技能」とそれを実践するための実技課題を検討した。資料編に、カリキュラムを掲載している。

今後、コースパッケージを作成するためには実際に実施してみなければならない。残念ながら今回のプロジェクト期間中にはこれらの開発まで進めることができなかった。しかし、条件が整い次第これらの課題には直ちに取り組むことができるだろう。

